

さっぽろ夏まつり - 福祉協賛ビアガーデン

さっぽろ夏まつりの目玉は、7月中旬から8月中旬にかけて大通公園で開催されるビアガーデンです。ビアガーデンは大通公園の5丁目から8丁目までと、10丁目と11丁目で6つのセクションに分かれています。合計13,000席あり、国内最大のビアガーデンとなっています。さっぽろ夏まつりの重要な特徴のひとつが慈善団体への支援であり、ビアガーデンからの収益の一部は慈善団体に寄付されます。

日本の大手の醸造所4社は、サッポロ、アサヒ、麒麟、サントリーです。この4社のビアガーデンは大通公園の中心、5丁目から8丁目の会場にあります。最大手の4社の醸造所は、さっぽろ夏まつりでしか飲めない限定のビールを提供しています。大通公園をさらに進むと10丁目には世界のビール広場があり、11丁目には札幌ドイツ村が続きます。地ビールのクラフトビールも提供しています。ビールはテイスティングセットだけでなく、3リットルのタワーピッチャーのような大きなサイズでも注文できます。

ピザ、ソーセージ、プレッツェル、ビーフオードブルセットなど、ビールとよく合う食べ物がたくさんあります。北海道で特別なメニューはジンギスカンです。ジンギスカンは、野菜をたっぷり使ったバーベキューラム、またはマトンです。ジンギスカンという名前は、モンゴルの兵士の兜に似た金属製のフライパンで調理されていることからその名が付けられました。食べ物や飲み物は、チケットカウンターまたは専門のチケットスタッフから購入できるチケットを使って、各屋台で直接注文できます。

それぞれの会場に色々な座席オプションがあります。予約なしテーブル、屋根付きまたは屋根なしのテーブル席、スタンディングバー、予約席などです。一部のエリアの座席はすぐにいっぱいになります。ただし、札幌にあるホテルに宿泊中の市外からのゲストがホテルのコンシェルジュサービスを通じて予約できる、おもてなしシートの手配ができるかもしれません。